

嘉麻市嘉穂地区小学校候補地の選定方針

平成21年6月

嘉麻市教育委員会

目 次

[本編]

- 1 嘉麻市嘉穂地区小学校候補地の選定方針の位置づけ 1
- 2 嘉麻市嘉穂地区小学校候補地選定方針 2

[資料]

- 3 候補地選定までの過程フロー 3
- 4 候補地選定に関する手続き及び選定結果等 4
 - (1) 市民との協働手法 4
 - (2) 嘉麻市嘉穂地区小学校統合に関する基本方針 6
 - (3) 候補地現況写真及び答申評価 7
 - (4) 候補地選定結果 9

1 嘉麻市嘉穂地区小学校候補地の選定方針の位置づけ

昨今の社会経済情勢は、少子高齢化、情報化、家族のあり方などが大きく変化し、地方教育行政を取り巻く環境は、様々な課題が生じており、本市の学校教育環境においても、特に少子化に伴う児童・生徒数の減少や国の地方税財政改革に伴う制度改革等により、財政環境が一段と厳しさを増す中、自ら学び、自ら考える個性重視の取り組みなどをはじめ新たな教育ニーズに応じた教育施策及び教育環境の改善・充実に早急な対応が求められている状況である。

そのような状況の下、本市嘉穂地区における小学校教育環境の現状は、児童数の減少傾向、現行の複式学級の導入の現状、児童の社会性や集団性の育成・助長等の望ましい教育環境の確保、小学校施設の整備状況などを鑑みると、嘉麻市教育委員会（以下「教育委員会」という。）としては、複式学級や単式学級のみで構成され、今後さらに小学校の小規模化が懸念される学校については、統合し適正規模化を図ることが緊急的課題と考える。

しかしながら、小学校は児童生徒等に一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に、地域にとって生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場となる地域コミュニティの拠点として、さらには非常災害時には地域の避難場所となるなどの防災拠点として重要な役割をもっており、P T A及び地域住民の理解と協力なしに小学校の統合を進めることは困難である。

このため、松岡市長マニフェスト及び第1次嘉麻市総合計画に位置づけられる『市民との協働』による手法を可能な限り尽くすことが重要であると考え、アンケート、地区懇談会、審議会等の住民参画の手続きを経てP T Aや地域住民と情報を共有し、互いの立場を尊重しあい、一定の信頼を得ながら、P T Aや地域住民から理解を得た「嘉麻市嘉穂地区小学校統合に関する基本方針（以下「統合基本方針」という。平成20年6月11日教育委員会議決）」を定めることができたものと考えている。

特に、候補地については、旧嘉穂町で審議された夢サイト周辺のA候補地、嘉穂中学校周辺のB候補地、嘉穂総合体育館周辺のC候補地を含んだ審議の結果、夢サイト周辺及び大隈小学校地が適切であり、当該地での統合校の設置であれば統合に協力するとP T A及び地域住民から賛同を得ている事項である。

この方針は、統合基本方針に基づき、夢サイト周辺のA候補地及び大隈小学校地の2候補地を対象とした評価及び調査を専門コンサルタントと比較検討した結果、嘉麻市嘉穂地区小学校候補地選定について定めるものである。

2 嘉麻市嘉穂地区小学校候補地選定方針

統合基本方針に基づき評価及び調査を行った結果、嘉麻市嘉穂地区小学校候補地の選定について次のように方針を定める。

候補地選定方針

夢サイト周辺のA候補地、大隈小学校地の両候補地ともに、一定の条件が整えば施設整備は可能であるが、今日の多様化・高度化する教育需要の基礎となる学校教育施設には高機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境であり地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備が求められている。

このため、弾力的な施設環境を整備するためには一定の広さを有する敷地が必要であり、また、地域の生涯学習やまちづくりの核となるためには夢サイトかほ周辺に位置し、周辺の環境整備を含め、市民の利便性や児童の通学対策にも配慮した施設として設置されるべきであり、総合的視点による候補地選定については、夢サイト周辺のA候補地とする。

ただし、私有地特有の不確定要素は否めないため、A候補地での小学校設置が困難な場合は、大隈小学校地での設置を検討する。

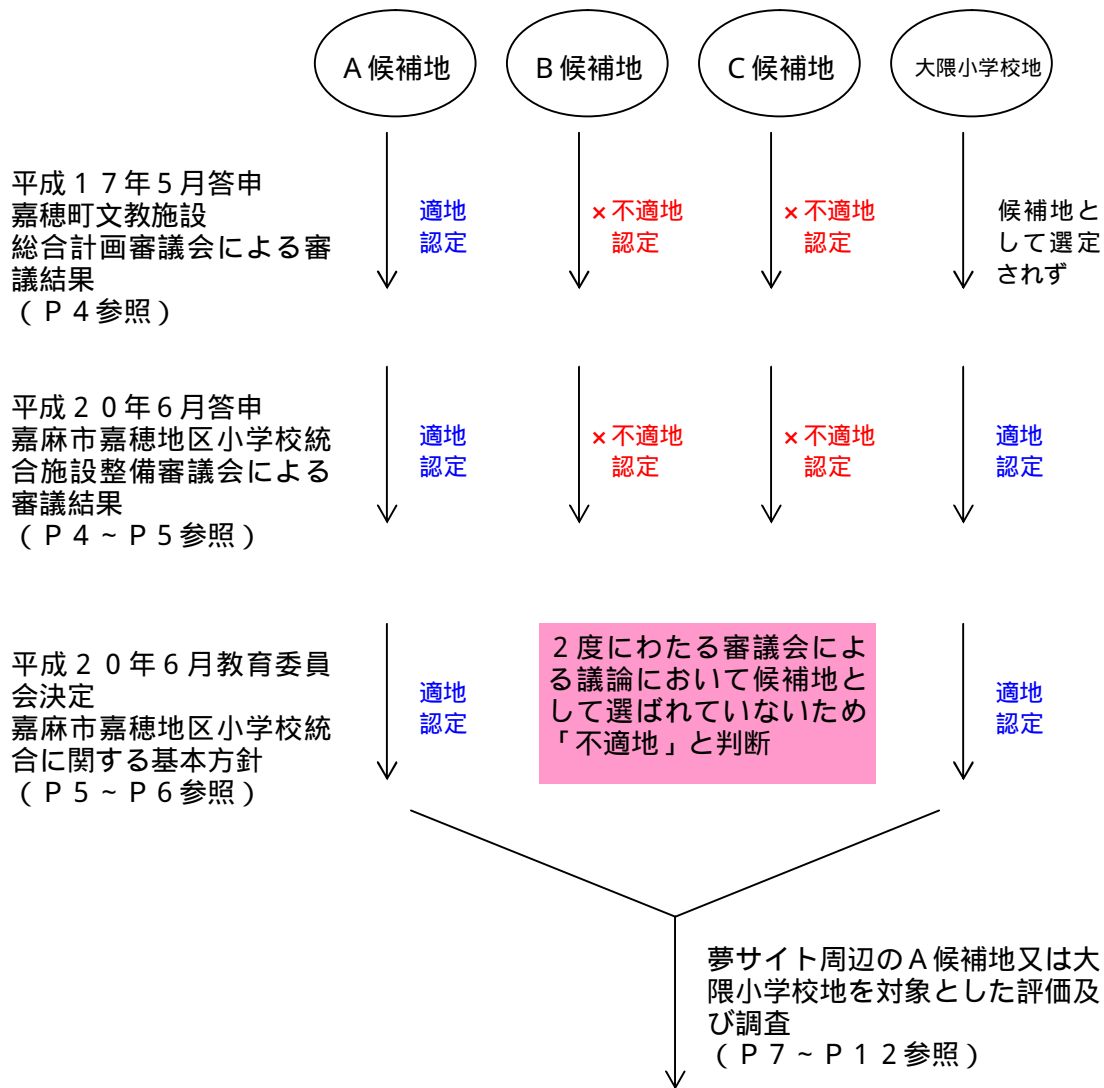
また、もう一つの最重要な視点である、安心・安全対策については、いずれの候補地においても最も配慮すべき事項であり、施設整備及び周辺環境整備においても最大限に配慮することとする。



夢サイト周辺の航空写真

なお、この候補地選定方針を定めた手続き、選定結果等の内容については、次ページ以降に示す。

3 候補地選定までの過程フロー



平成21年6月教育委員会決定
 嘉麻市嘉穂地区小学校候補地の選定方針決定
 候補地選定については、夢サイト周辺のA候補地
 A候補地での小学校設置が困難な場合は、大隈小学校地での設置を検討

4 候補地選定に関する手続き及び選定結果等

市民との協働手法

小学校は児童生徒等に一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に、地域にとって生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場となる地域コミュニティの拠点機能や地域の避難場所となるなどの防災拠点として重要な役割をもっている。

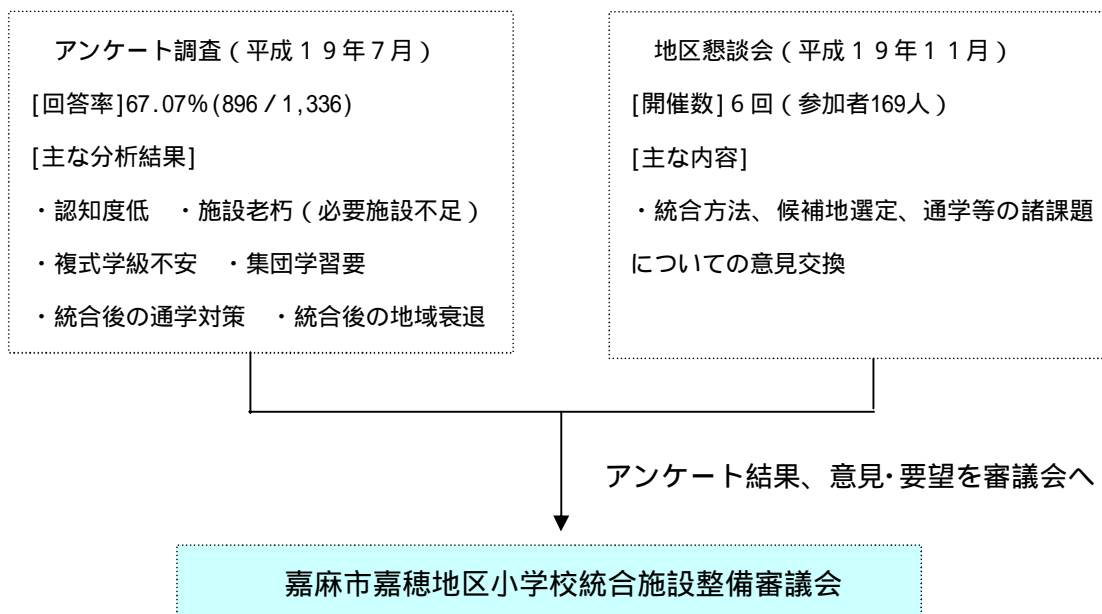
このため、PTA及び地域住民の理解と協力なしに小学校の統合を進めることは困難であり、逆にいえば市民と協働による手法を取らなければ達成できない事項である。

具体的な市民との協働手法については次のように実施した。

平成17年5月 旧嘉穂町での取り組み（嘉穂町文教施設総合計画審議会）

主な答申内容	嘉穂町文教施設総合計画審議会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 6小学校を1小学校に統合 ・ スクールバスによる通学対策 ・ <u>小学校関連施設候補地はA候補地</u> (夢サイト周辺) 	審議回数 計8回 委員構成 計17人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学識経験者2人 ・ 教育機関代表者7人 ・ 町議会議員3人 ・ 区長会代表4人 ・ 公共的団体代表1人

嘉麻市での取り組み



嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会

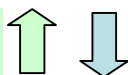
開催時期 平成19年10月～平成20年6月

審議回数 計9回

委員構成 計22人

- ・学識経験者1人 ・学校関係者3人 ・地域代表者6人
- ・PTA代表者6人 ・PTA母親委員代表者6人

平成19年10月26日諮問



平成20年6月9日答申

嘉麻市教育委員会

旧嘉穂町答申及び嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会答申を最大限尊重
松岡市長マニフェスト及び第一次嘉麻市総合計画の最重要視点「市民との協働」の
認識

統合に関する基本方針決定

・議会報告・公表

嘉麻市嘉穂地区小学校統合に関する基本方針
(平成20年6月11日 教育委員会決定)

[主な内容]

* 嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会の答申内容とほぼ同一内容を教育委員会の基本方針と定めた。

- ・嘉穂地区小学校の統合対象校は、大隈小、宮野小、足白小、千手小、泉河内小の5小学校
- ・統合小学校の位置は、夢サイト周辺のA候補地又は大隈小学校地
- ・通学対策として全額公費負担のスクールバス運行
- ・嘉穂地区小学校統合については、PTAや地域住民と合意を図りながら実施

嘉麻市嘉穂地区小学校統合に関する基本方針（候補地に関する抜粋）

旧嘉穂町での審議会（嘉穂町文教施設総合計画審議会）及び嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会の答申を受け、教育委員会は次のように基本方針を定めた。

安心安全な環境、小学校と中学校の連携など様々な議論の結果、嘉穂町答申ではA候補地、答申ではA候補地又は大隈小学校地の活用という審議結果が提出された。

教育委員会としては、A候補地については民有地であり用地買収がともなうこと、大隈小学校地については面積等の制約があることなど様々な不確定要素が多く、現段階で候補地の決定を行うことは難しい。

このため、候補地についてはA候補地と大隈小学校地を客観的かつ技術的に評価し、さらには用地買収の可否についても調査を行い速やかに決定することとする。

嘉穂地区統合小学校の位置は、夢サイト周辺のA候補地又は大隈小学校地を対象とした評価及び調査を行い決定する。

[経過]

平成 20 年 6 月 11 日 基本方針の決定

平成 20 年 6 月 12 日 民生文教委員会報告

平成 20 年 6 月 18 日 市議会報告（資料配布）

プレスリリース（新聞 4 紙掲載）

平成 20 年 6 月～平成 20 年 11 月 評価及び調査

[陳情署名]

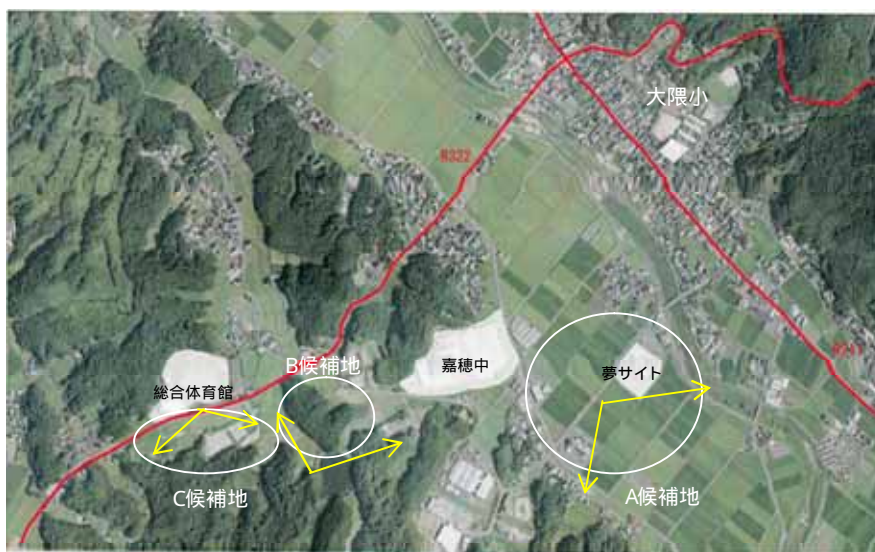
陳情署名数 2,603 人

- ・大隈小学校地建替要望 765 人
- ・夢サイト周辺 A 候補地 1,838 人

候補地現況写真及び答申評価

旧嘉穂町での審議会（嘉穂町文教施設総合計画審議会）及び嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会にて候補地として審議された地域の 航空写真、 現況写真及び 答申評価は次のとおりである。

航空写真



現況写真

[A 候補地] 旧嘉穂町、嘉麻市で適地認定



[B 候補地] 旧嘉穂町、嘉麻市で不適地認定



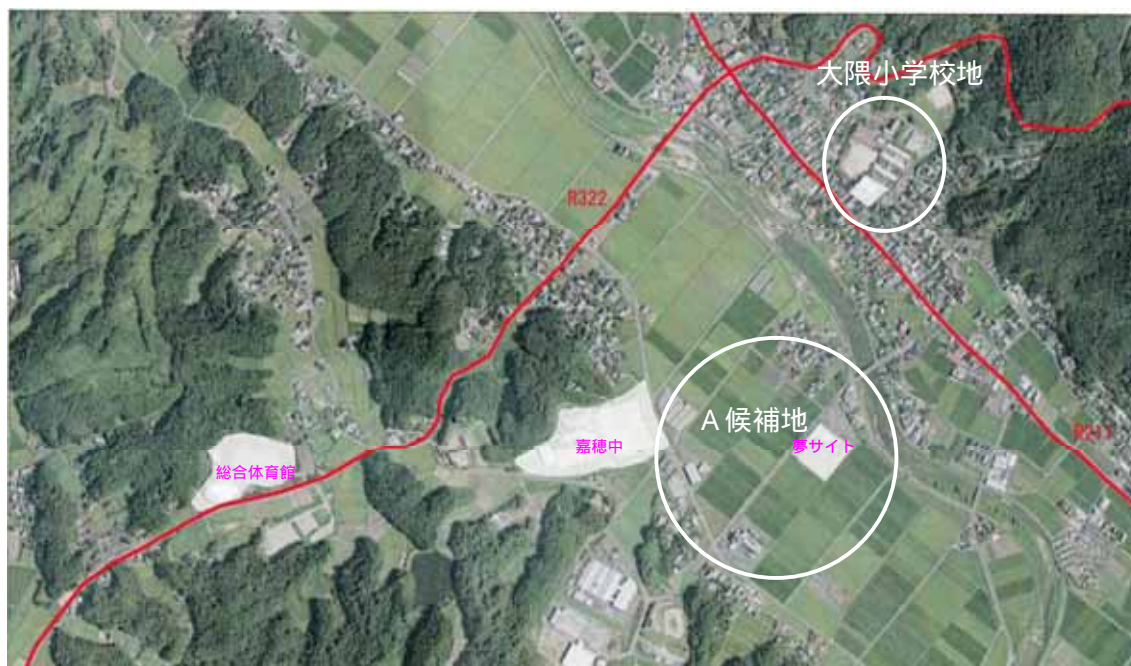


答申評価

	A 候補地	B 候補地	C 候補地	大隈小学校地
嘉穂町文教施設総合計画審議会答申	適地認定	× 不適地認定(社会体育施設候補地と位置づけ)	× 不適地認定	候補地として選定されず
嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会答申	適地認定	× 不適地認定(山あいでの通学路など安全面で不安)(特に保護者から反対の声が多い)	× 不適地認定(体育館があるが安全面で不安)(特に保護者から反対の声が多い)	A 候補地の代替地活用を見込み適地認定(ただし庁舎活用を含む。)

候補地選定結果

嘉麻市嘉穂地区小学校統合に関する基本方針（「嘉穂地区統合小学校の位置は、夢サイト周辺のA候補地又は大隈小学校地を対象とした評価及び調査を行い決定する。」）に基づき、夢サイト周辺のA候補地及び大隈小学校地の2候補地を対象とした評価及び調査を専門コンサルタントと比較検討した結果は次のとおりである。



[比較検討条件]

夢サイト周辺のA候補地は、農地（民有地）買収により整備を行う。

大隈小学校地は、現有面積の中で整備を行う。

施設は、校舎・体育館・運動場・校庭・プール・給食施設・学童保育所・駐車場を整備する。

用地の一般的属性

項目	A候補地（夢サイト周辺）	比較	大隈小学校用地
地勢	平坦な農地	=	嘉穂庁舎と丘陵地の間
周辺公共施設	夢サイトかほ	=	嘉穂庁舎
標高	田の標高 51.5m	=	大隈小グラウンドの標高 51.5m
想定される敷地面積	27,000㎡程度を想定	>	約15,800㎡（現有敷地面積）

用地の固有属性

項目	A 候補地（夢サイト周辺）	比較	大隈小学校用地
都市計画 （開発行為）	調整池必要	>	調整池必要。 <u>進入路（9m）の課題あり</u>
農地 （農地転用）	<u>農振除外と農地転用手続き要</u>	<	不要
環境評価 （工事影響）	道路と隣接、工事車両進入容易。周辺部に民家がなく、工事容易	>	進入路狭小、 <u>工事車両進入路整備要</u> 。近接した民家多し、 <u>周辺環境影響に配慮要</u>
所有者 （用地買収）	民有地のため <u>用地購入要</u>	<	公有地のため不要

[評価]

A 候補地では、農地転用・用地買収等の事務手続きが円滑に進めば、余裕ある学校敷地の確保が可能である。

一方、大隈小学校用地では、調整池の配置、進入路拡幅にともなう整備ができれば、学校敷地として利用可能であり、どちらの候補地についても、一定の条件が整えば、施設整備可能といえる。

必要となる関連整備

項目	A 候補地（夢サイト周辺）	比較	大隈小学校用地
教育施設（校舎）	平屋建て	>	<u>2階～3階建て。仮設校舎整備要</u>
教育施設（体育館、給食棟、運動場、プール）	整備要	=	整備要
学童保育所	整備要	=	整備要
その他関連整備（進入路）	整備容易	>	主要路線と隣接していないため、 <u>整備困難</u>
その他関連整備（駐車場）	大容量の駐車スペース	>	<u>狭小な駐車スペース</u>
その他関連整備（造成工）	整備要	=	整備要

[評価]

A 候補地は、敷地に余裕があり、周辺に民家がないため整備工事が容易である。

一方、大隈小学校地は、敷地に制約があるため、必要施設（プール、調整池、学童保育所、スクールバス駐車場）を整備すると、2～3階建ての建築物となると同時に狭小な運動場となる。

また、工事期間中においては仮設校舎の設置が必要となる。

財政的な面からの特徴（数値化評価）

項目	A 候補地（夢サイト周辺）	比較	大隈小学校用地
事業費比率 （総事業費）	<u>100</u> と仮定	<	A 候補地総事業費を100とすると、 <u>92</u>
事業費比率 （実質一般財源）	A 候補地総事業費を100とすると、 <u>28</u>	<	A 候補地総事業費を100とすると、 <u>26</u>
財源内訳比率	特定財源72.3%、実質一般財源27.7%	>	特定財源71.6%、実質一般財源28.4%

[評価]

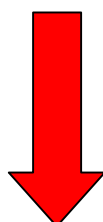
各候補地の大きな財政的な差異は、用地買収費の要否である。

A 候補地の方が総事業費ベースで8ポイント、国庫補助・合併特例債の活用により実質一般財源投入ベースは2ポイント割高となるが、A 候補地での事業では2.7haの公有地資産の確保につながるものである。

比較のまとめ

項目	評価
用地の固有属性	<p>A 候補地では、農地転用・用地買収等の事務手続きが円滑に進めば、余裕ある学校敷地の確保が可能である。</p> <p>一方、大隈小学校用地では、調整池の配置、進入路拡幅にともなう整備ができれば、学校敷地として利用可能であり、どちらの候補地についても、一定の条件が整えば、施設整備可能といえる。</p>
必要となる関連整備	<p>A 候補地は、敷地に余裕があり、周辺に民家がないため整備工事が容易である。</p> <p>一方、大隈小学校地は、敷地に制約があるため、必要施設（プール、調整池、学童保育所、スクールバス駐車場）を整備すると、</p>

	<p>2～3階建ての建築物となると同時に狭小な運動場となる。 また、工事期間中においては仮設校舎の設置が必要となる。</p>
<p>財政的な面からの特徴（数値化評価）</p>	<p>各候補地の大きな財政的な差異は、用地買収費の要否である。 A候補地の方が総事業費ベースで8ポイント、国庫補助・合併特例債の活用により実質一般財源投入ベースは2ポイント割高となるが、A候補地での事業では2.7haの公有地資産の確保につながるものである。</p>



[小学校施設整備指針（文部科学省）]学校施設整備の基本的方針

- 1．高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備
- 2．健康的かつ安全で豊かな施設環境の確保
- 3．地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設整備

統合基本方針に基づき評価及び調査を行った結果、嘉麻市嘉穂地区小学校候補地の選定について次のように方針を定める。

候補地選定方針

* P 2 再掲

夢サイト周辺のA候補地、大隈小学校地の両候補地ともに、一定の条件が整えば施設整備は可能であるが、今日の多様化・高度化する教育需要の基礎となる学校教育施設には高機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境であり地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備が求められている。

このため、弾力的な施設環境を整備するためには一定の広さを有する敷地が必要であり、また、地域の生涯学習やまちづくりの核となるためには夢サイトかほ周辺に位置し、周辺の環境整備を含め、市民の利便性や児童の通学対策にも配慮した施設として設置されるべきであり、総合的視点による候補地選定については、夢サイト周辺のA候補地とする。

ただし、民有地特有の不確定要素は否めないため、A候補地での小学校設置が困難な場合は、大隈小学校地での設置を検討する。

また、もう一つの最重要な視点である、安心・安全対策については、いずれの候補地においても最も配慮すべき事項であり、施設整備及び周辺環境整備においても最大限に配慮することとする。